

マガン（カモ科） 全長65～86センチ

10月6日の朝、外に出たら上空から聞き覚えのある鳴き声が聞こえてきた。

数十羽から100羽近いガンの群れが、綺麗な隊列で東の奥羽山脈に向かっていった。マガンやヒシクイでしょうか、はるか上空で判別できません。隊列は次々と現れ、鉤になり竿になりながら東へと進み、ついに見えなくなった。

10月10日、神宮寺戸月の田んぼでハクチョウの群れ20羽が羽を休めていた。今シーズン初めての観察であったことから、撮影に取り掛かった。



一斉に頭をもたげ、警戒中。

撮影中に遠くからマガンらしき鳴き声が聞こえてきた。

すると間もなく、オオハクチョウの群れの近くにマガン17羽がバラバラと舞い降りてきたではないか。大仙市は遥か上空を通り過ぎることが殆どであり、警戒心の強いマガンが目の前に降りてきたのは驚きであった。



田んぼに舞い降りた。



マガンの群れは、オオハクチョウに近づいて行った。

田んぼには、落ち穂や稲の根など餌が豊富にあるからでしょうか。マガンは自然環境が整っていなければ降りることはありません。

この地が天然記念物マガンの中継地点として定期的に飛来することを願っています。



お互い挨拶をしているようにも見えた。



胸に縞模様があるのが成鳥、右は若鳥。